

ふなばし健やかプラン2 1 推進協議会

EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）とは

- 政策立案において、客観的な根拠に基づいた意思決定を重視する考え方
- 単にデータに基づくのではなく、政策目的を明確化し、その達成に繋がる根拠を収集・分析するプロセスが重要

EBPMの必要性**政策の有効性向上**

政策の効果を測定し、改善を図るための根拠を提供より効果的な政策の実施が可能

市民の信頼確保

政策決定のプロセスを透明化し、市民への説明責任行政への信頼を高め、政策への理解と協力を促進。

意思決定の質向上

政策立案に客観的な根拠に基づいた論理的な思考を導入することで、政策決定の質向上。
感情や主観的な判断による誤りを防ぎ、より合理的で効果的な政策を立案することが可能

EBPM推進の重要性**データに基づく政策**

EBPMは、統計データや行政評価データなどを活用することで、政策効果を客観的に評価し改善を図る。

市民参加の促進

EBPMは、政策立案プロセスにおける市民の参加を促進し、市民の声を政策に反映する。

透明性と説明責任の向上

EBPMは、政策決定の過程を透明化し、市民への説明責任を向上させます。

政策の持続可能性

EBPMは、長期的な視点に立って政策を評価し、持続可能な社会の実現に貢献します。